

令和6年度第1回社会福祉施設のあり方専門分科会における 委員からの主な意見について

令和6年9月3日

保健福祉総務課

1 江川委員

- 自分も社会福祉法人で保育所の経営をしているが、時代の変化と共に求められる役割が変化していると感じる。急激な少子化もあり、考えなくてはいけない時期に来ている。
- 採算ベースに乗せられる事業、民間でできることは民間でやっていくべき。収支バランスをとりながら、専門性を生かして地域貢献していくのが民間の役割だと思っている。逆に採算のとれない福祉サービスは公共で提供してもらい、私たちも納税することで助け合い、支え合っていく意識が大切。
- 各施設の役割を精査しながら、今後について考えていきたい。洗濯センターも施設として残すのが良いのか、委託が良いのか、まさに収支バランスの問題だと思う。

2 関委員

- 最近では富山県に児童心理治療施設がないため、児童相談所の機能強化という形で取り入れていると聞いた。これまでの考え方とは変わって、一時保護した子どもや治療が必要な子どもを、児童心理治療施設で緩和した上で、入所施設を案内しているという。こういった新しい考え方を取り入れていくことも大事だと思う。社協でも引き続き、松本委員を中心に議論していきたい。
- 県南の児童養護施設だと矢吹病院で精神科に見てもらえるが、県北では療育センターや医大もあるが、養護施設のニーズに答えられているのか。
- 自分も評議員として太陽の国には何度か行っているが、ぜひ分科会の皆様にもご覧いただきたい。特に新しい施設と古いままの施設を比べると、入所者や職員の表情が違うことが伝わると思う

3 松本委員

- 私の子どもの頃に太陽の国ができたが、今の老朽化は見るも無惨な姿。ところどころ建替えた施設があり、それは利用者にとってプラスの影響を与えていると思う。建替えには相当の費用が掛かることを踏まえた上で、なお建て替えが必要かどうか検討するため、実際に現地（新旧両方の施設）を見ることはとても大切。
- 利用者のニーズが減少している、少子化により入所者が減っているという説明について思うのは、もう少し広く県民の声を聞いた方が良いのではないかと

ということ。施設の規模縮小等は、広く意見を聴いて慎重に検討すべき。

- マイノリティへの手厚い福祉サービスの提供は県でなければならない。小児医療もその最たるもの。こういった役割は最後の最後まで県に担ってもらうことが必要。
- 要望として、太陽の国は事業団方式で運営しているが、矢吹しらうめ荘やけやき荘の虐待事件が続いており、福祉業界において大変大きなショックだった。嫌な例だが、神奈川県はやまゆり園も事業団方式の施設であった。どのように原因究明や再発防止に取り組むか、非常に重要だし県民の関心も高い部分である。
- 中央児童相談所の建替についても、この一覧にないのは承知しているが、この機会に申し上げたい。親御さんから離れた、保護された子どもたちに新たなトラウマを植え付けるようなことがあってはならない。
- 児童心理短期治療施設について、他の団体を通じてすでに要望等しているが、ぜひ設置していただきたい。

4 森田委員

- 太陽の国は昔行ったことがあるが、なんでこんな山奥にあるのだろう、と感じた。福祉サービスの手厚さについて、かつて住んでいた滋賀県と福島県のギャップにもよく驚いた。
- 虐待の背景には、支援者の未熟さもあると思う。支援者の資質向上は重要。自分自身も重度障害者の親として何十年も研修会に行っているが、理解していない人ほど研修に出てこない。職員だけでなく、施設長や管理職にも研修を受けてもらわなければ、施設は変わっていかない。下の者だけではダメ。
- 重度障害者の息子の行き場所が無いと感じることもある。地域移行と言っても、どこに行けば良いのか。
- 障がい者と健常者、障がい児と健常児が交流することも大切。畑仕事でもゲームでも、一緒にやっていけばよい。太陽の国ももっと開けたものにすれば利用者が増えるのではないか。
- 重度障害者（児）の入所施設は、病院の近く（敷地内等）でなければならない。看護師だけでは対応できない。

5 小林委員

- 障がい児の入所施設について、入所のニーズが減ってきているという説明だったが、助けてと声を上げられない人のことも考慮してほしい。この人口減が深刻化する社会において、弱い人に優しい社会が、子育てしやすい地域づくりにもつながるのではないか。
- 太陽の国は措置の時代につくられたもの。立地や名前も含め、広く県民に意見を聴けば、地域で利用しやすい施設になるのではないか。
- 虐待事件は痛ましいが、職員個人だけを責めることはできないのではないかと、考えなければならない。創業期と何十年運営してからでは、職員のモチベーションや教育、研修の面で課題が生じていることもあるのではないか。
- 県立社会福祉施設の役割が変わってきているという点については、どのように変わってきているか教えてほしい。

6 原委員

- 医師会では、福島病院を中心に、太田西ノ内病院や在宅医療の専門家を招いて、医療的ケア児の研修を行っている。療育センターとの連携がまだ十分でないと感じているので、力になれることがあれば言っていたきたい。
- 太陽の国クリニックの果たす役割はどうあるべきか。療育センターとも連携していくものなのか。(入所者のケア及び外来による地域貢献と回答)